

「検索技術者検定」 3級の試験方法が変わります

一般社団法人 情報科学技術協会
会長 山崎 久道

本協会では1985年に始まりました伝統ある「検索技術者検定」について、情報通信技術（ICT）社会に対応した試験方法や、受験者の受験機会や受験会場を増やすための方策を検討してまいりました。

「検索技術者検定」3級は、2019年度まではマークシートによる解答方式でしたが、2020年度から会場型 CBT（Computer Based Testing）方式による試験方法に変更いたします。会場型 CBT 方式とは、全国にある指定された会場のコンピュータを利用して受験する試験方法のことです。受験者はコンピュータに表示された試験問題に対して、マウスやキーボードを用いて解答します。

会場型 CBT 方式への変更により、2019年度まで受験日は年1回でしたが、2020年度から受験者が希望する全国の会場で、一定期間内の希望する日時に何回でも受験することが可能になります。

合格すると2019年度までの「検索技術者検定」3級と同じ資格が得られます。

なお、2020年度の「検索技術者検定」2級と1級の試験方法につきましては、変更ありません。

2020年度と2019年度の試験方法等の比較：

	項目	新方式（2020年度）の試験	現行方式（2019年度）の試験
変更する内容	試験方法	CBT（コンピュータ上で解答）方式	マークシート（用紙上に解答）方式
	試験日時	11月～翌年1月の3か月間を予定	2019年11月24日（日）
	受験機会	指定期間内に、何回でも受験可能	年1回指定された1日
	受験料	6,000円/回（税別）	4,000円（税別）
	試験会場	全国47都道府県の会場から選択	7都道府県の会場（北海道、東京2会場、名古屋、京都、大阪、北九州）
	合否通知	試験終了後、即時通知	試験実施後、約1か月で通知
変更しない内容	受験資格	受験資格は問いません	
	試験時間	60分	
	試験範囲	「受験案内」に記載の通り	
	出題方式	選択式問題（記述式問題は無し）	
	公式テキスト	情報科学技術協会 監修 『検索スキルをみがく－検索技術者検定3級 公式テキスト－』 （樹村房 2018年刊行 本体1,800円＋税）	

「検索技術者検定」3級の試験変更に伴うお知らせは、協会の「検索技術者検定」ウェブページや会誌『情報の科学と技術』を通じて行います。

新試験方法などの詳細案内は2020年4月以降を予定しています。

お問い合わせ先：

一般社団法人 情報科学技術協会（INFOSTA）

本協会のウェブサイト

「お問い合わせ」フォームから、
お問い合わせください。

